

母児同室と産後うつに関する 研究へのご協力をお願い

*研究の目的

核家族が増える中、母親の孤立、育児不安が顕在化しており、産後うつの割合も増えてきています。産後うつを予防するには、健やかな育児環境を整えることが望ましく、その為にも入院中に赤ちゃんと過ごす時間を多く持つことがよいと考えられます。そこで私たちは、母児同室を行なうことで、退院後の育児にどのように影響し、産後うつと関連するののかについて研究させていただきます。ご協力いただいた内容をもとに今後、産後うつの予防として母児同室への取り組みに活かしていきたいと考えております。

*研究の対象

2019年1月～12月に当院でご出産され、産後母児同室を行われた初産婦の方で、2週間健診・1ヵ月健診を受診された方。

*研究に用いる試料

利用させていただくカルテ情報は下記の通りです。
こころのチェックリストの点数

*個人情報の保護

得られた個人情報は、研究の目的以外には使用しません。データは匿名化しますので、研究発表する際も個人情報は守られます。データは厳重に保管し、外部へは漏れることはありません。データは研究が終了後すぐに破棄します。

*協力者の権利

この研究への参加は自由意志です。参加をしてもしなくても、それによる利益・不利益はありません。参加の意思がない方は下記の連絡先までご連絡をお願いします。

※この研究は各院内・院外の研修で発表させていただきます。

その際個人を特定されることはありません。

*研究組織

研究責任者：京都第一赤十字病院 総合周産期母子医療センター 看護師長 佐藤友美

研究者：森下実幸・仲澤千幸・植村夢菜・小磯瑞実・吉川芽衣

*お問い合わせ先

605-0981 京都市東山区本町15丁目749番地 京都第一赤十字病院

総合周産期母子医療センター A6病棟 TEL：(直通)075-525-3371